

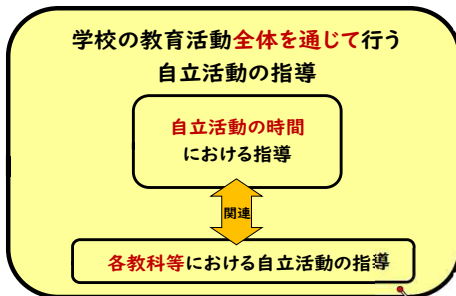


Q1. 自立活動ってなあに？指導は、いつ行うの？

A1. 自立活動は、「障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服し自立を図ること」を目的とした特別な指導領域のことです。

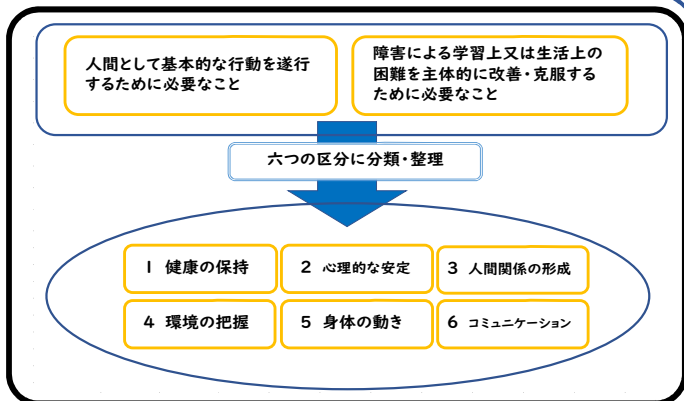
特別支援学級においては、対象となる児童生徒の障害の種類や程度等によって、自立活動を教育課程に取り入れることとなっています。

自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通じて行うものです。指導に当たっては、右の図のように、授業時間を特設して行う「自立活動の時間」における指導を中心とし、各教科等の指導においても、密接な関連を図って行わなくてはなりません。



Q2. 自立活動の指導では、どんな内容を指導するの？

A2. 自立活動の内容は、「人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素」と、「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための要素」で構成され、右の図のように六つの区分に分類・整理されています。



自立活動の内容の考え方



詳しい内容については、ホームページをご覧ください

<https://www.saga-ed.jp/2020/12/21/r2-tokubetusien2/>



■ お問い合わせ先 ■
 佐賀県教育センター 生徒支援担当
 TEL 0952-62-5211(代表)
 MAIL cent_shidou@education.saga.jp

一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導の進め方
 ~小・中学校及び義務教育学校の特別支援学級における指導の提案~

このリーフレットは、特別支援学級における自立活動の指導の進め方についてまとめたものです。

令和元年度の研究で作成した「流れ図シート」や指導内容の設定の過程で使用する「シート等」を使うことで、経験年数の浅い先生方も、児童生徒一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導に生かすことができます。

令和2年度の研究では、「シート等」を活用した自立活動の指導の進め方（実態把握から具体的な指導内容の設定まで）の事例を提案しています。

是非、ご活用ください。



本研究で考える自立活動の指導の進め方と各段階で使用したシート等

本研究で考える自立活動の指導の進め方		シート等	
実態把握	①	自立活動の指導を行うために必要な情報を収集する段階	情報収集シート
	②-1	収集した情報を自立活動の六つの区分に整理する段階	情報整理シート
	②-2	収集した情報を学習上又は生活上の困難の視点で整理する段階	情報収集シート
	②-3	収集した情報を将来の姿の観点から整理する段階	
課題の整理	③	整理した情報の中から、課題となることを抽出する段階	課題抽出～指導目標シート
	④	抽出した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階	
	⑤	中心的な課題を踏まえた指導目標を設定する段階	
	⑥	指導目標を達成するために必要な項目を自立活動の区分から選定する段階	
	⑦	指導すべき項目同士を関連付ける段階	
⑧	具体的な指導内容を設定する段階	自立活動の具体的な指導内容例	
①～⑧	実態の把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れ	流れ図シート	

一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導の進め方

シート等を使った指導内容を設定するまでの流れについて

① 流れ図シート

自立活動の指導「流れ図シート」

実態把握	① 情報収集						
	②-1 情報整理 区分に即して整理	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	②-2 情報整理 学習上又は生活上の困難の視点で整理						
	②-3 情報整理 将来の姿から整理						
指導すべき課題の整理	③ 実態把握からの課題抽出						
	④ 中心的な課題の決定						
⑤ 指導目標の設定	課題同士の関係を整理する中で今指導すべき指導目標として						
⑥ 項目の選定	指導目標(ねらい)を達成するために必要な項目の選定	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	⑦ 項目間の関連付け	項目間の関連					
⑧ 具体的な指導内容の設定	選定した項目を関連付けて具体的な指導内容を設定						
		ア	イ	ウ	...		

① 流れ図シート

を使用することで、自立活動の指導の進め方について、児童生徒の実態把握から具体的な指導内容の設定までの流れ(プロセス)を明確にすることができます。

② 実態把握

実態把握のために必要な情報を収集する段階(情報収集)と、収集した情報を整理する段階(情報整理)です。

① 情報収集シート

を使用することで、収集した情報を整理しやすいように、自立活動の区分や、将来の姿等について書くことができます。

② 情報整理シート

を使用することで、収集した情報を六つの区分に整理したり、学習上又は生活上の困難という視点で整理したりすることができます。

① 情報収集シート

氏名	性別	学年	学級
所属	所属	所属	所属
障害の種類・程度や状態等			
障害の種類			
程度			
状態			
障害の程度			
障害の種類			
程度			
状態			
障害の程度			
障害の種類			
程度			
状態			
障害の程度			

② 情報整理シート

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

段階ごとにシート等があるので、必要に応じて活用すればいいだね。

シート等には、活用の目的や使い方のポイント、使用例が示されているのね。



③ 指導すべき課題の整理

整理した情報の中から、課題を抽出する段階(課題抽出)と抽出した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階です。

④ 指導目標の設定

中心的な課題に基づき指導目標を設定する段階です。

③ 課題抽出～⑤ 指導目標シート

を使用することで、課題の抽出及び目標設定をする際に、指導すべき課題を取り出したり、中心的な課題を導き出したりすることができます。

③ 課題抽出～⑤ 指導目標シート

課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題
課題	課題	課題	課題

⑥ 項目の選定及び項目間の関連付け (⑥～⑦)

指導目標を達成するために必要な項目を選定し、項目同士を関連付ける段階です。指導目標を達成するために必要な項目を、自立活動の6区分27項目から選定します。

⑧ 具体的な指導内容の設定

選定した項目を相互に関連付けて、指導目標を達成するための具体的な指導内容を設定する段階です。

⑧ 自立活動の具体的な指導内容例(障害種別)

を使用することで、児童生徒の障害の状況に応じた具体的な指導内容例と留意点について知ることができます。

区分	項目	他の項目との関連例	児童生徒の障害の状態	具体的な指導内容例と留意点
1	健康の保持		運動量が少なく、結果として肥満になったり、体力低下を招いたりすることがある	体力低下を防ぐためには、運動することへの意欲を高めながら適度な運動を取り入れたり、食生活と健康について実際の生活に即して学習したりするなど、日常生活において自己の健康管理ができるようにするための指導が必要である
			心理的な要因により不登校の状態が続く、運動量が極端に少なくなったり、食欲不振の状態になったりする場合がある	健康状態の維持・改善を図る指導を進めるに当たっては、主治医等から個々の児童生徒の健康状態に関する情報を得るとともに、目ごとの体調を十分に把握する必要があることから、医療機関や家庭と密接な連携を図ることが大切である

シート等を使うことで、家庭と情報を共有したり、他の先生と連携した指導を行ったりすることができます。



①～⑧のシート等は、こちらからダウンロードできます。

